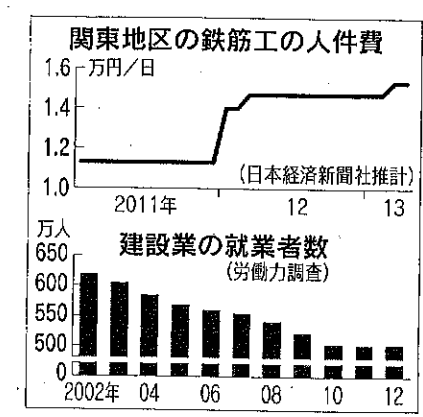


建設会社が人件費上昇への対応に苦慮している。東日本震災の復旧工事が本格化し、受注は増えたものの、被災地で作業員の求人が増加。建設会社は人集めのために人件費の引き上げを優先する。限られた工事受注額のなかで人件費を増やす分、資材費に削減のしわ寄せがいく構図だ。建設資材の製造企業には価格交渉や出荷に影響が出ている。

仕事増、人手は不足



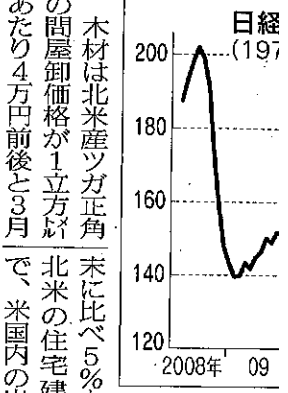
建設、人件費上昇に苦慮

4月2日、中堅ゼネコンの東海興業(東京・中)が東京地裁へ民事再生法の適用を申請した。負債総額は約140億円。2007年8月期は...

建設労働者らがより高い賃金を求めて被災地へ流れる中で、人件費上昇の波は建設案件が集中する首都圏にも押し寄せ、鉄筋工の賃金は現在、

した日経商品指数42種(1970年=100)の4月末値は176.051と前月比0.1%上昇した。上昇は6カ月連続。円安による輸入価格の上昇で食品や木材が上

下落しており、品目で市況の強弱感は分かれた。42種で前月末に比べ上昇したのは10品目で、11品目は低下した。食品で特に値上がりが目立ったのが大豆だ。今



資材費にしわ寄せ 価格交渉にも影響

した中、コンクリート型枠工の賃金は1日1万6千~2万円、震災前に比べ3割上昇。鉄筋を組み立てる鉄筋工も1万6千~2万円、5割高い。宮城県建築工業業協同組合は「仕事が多すぎ、全国に拠点を持つ建設会社などを通じて職人を集めている」と説明する。

建設労働者らがより高い賃金を求めて被災地へ流れる中で、人件費上昇の波は建設案件が集中する首都圏にも押し寄せ、鉄筋工の賃金は現在、

木材は北米産ツガ正角材の問屋卸価格が1立方尺あたり4万円前後と3月で、米国内の出荷を増や

4月の日経商

月次42種 17
 繊維鉄材学油紙品他 10
 板紙の 14
 の 16
 (注) 前月比は 26
 %、 70
 13
 14
 28

要相場

30日 146.072
 前日比 -0.529
 (前日=100)

日形5.5×8×200×100ミリ
 70-72 72-73
 ▽棒鋼スポット物 (異形棒 16ミリ、置き場渡し)
 63-65 66-67

▽鋼板
 冷延1.6ミリ(914×1,829ミリ)
 73-75 72-73
 熱延1.6ミリ(1,219×2,438ミリ)
 61-63 64-65
 熱延3.2ミリ(1,219×2,438ミリ)
 59-60 60-61
 熱延12ミリ(1,524×3,048ミリ)
 64-65 63-64

▽電気亜鉛めっき鋼板
 冷延1.0ミリ(914×1,829ミリ)
 90-92 96-97
 熱延1.6ミリ(914×1,829ミリ)
 80-82 86-87

天然ゴム

(大口需要向け、営業在庫渡し、1キロ、90日手形、円)

RSS 1号 東京 大阪
 RSS 3号 0261
 TSR20号 0263 0263

織維

▽綿糸(大阪仲間、上綿品、木管別、指定地渡し、45日手形、1コリ、千円)

現物5~6月 一月
 20単 71-73
 30単 81-83
 40単 82-84

▽スフ糸(大阪仲間、当月物、指定地渡し、45日手形、円)

プライト ダル
 30単 281 266

▽毛糸(名古屋仲間、羊毛織り糸、1キロ、90日手形、日歩付き、円)

48双 1,950
 60双 2,200

砂糖

(元卸、市中標準品、置き場渡し、1キロ、現金、円)

東京 大阪
 上白 182-183 183
 白ざら 205-207 206-207
 中ざら 205-206 206

グラニュー(並) 185-186 186
 グラニュー(本グラ) 187-188 188
 ビートグラ 182-183 183

◇名古屋
 上白 186
 白ざら 210-211
 本グラニュー 191
 ビートグラ 184

◇開門
 上白 186

小豆・大豆

(問屋仲間、大豆は需要家渡し、北海道産2等、高品質、輸入物は落港貨車乗り、円)

◇東京
 小豆(中間物、30キロ) 13.5
 中国産小豆(天津、未選、60キロ) 12
 米国産大豆(インディアナ・オハイオ・ミシガン、選別、遺伝子非組み換え分別品、1トン) 0106

◇大阪
 小豆(中間物、30キロ) 14
 中国産小豆(天津、未選、60キロ) 13
 ◇常広(貨車乗り、30キロ)
 小豆(みかき) 13
 大手亡 11.7
 大正金時 16

夜間、集魚灯を使うイカ釣り船では燃料コストがかさむ。全国漁業協同組合連合会(全漁連)に加入するイカ釣り船は円安による燃料高騰への対策を政府に求め、休漁に踏み切った。水揚げは29日に再開し、30日の築地市場の入荷量は約7.5万トンと前週末より2割多か

スルメイカ卸値 前週と同水準
 築地、休漁の影響なし
 東京・築地市場では30日、スルメイカの卸価格が前週と同水準の1.7(20匹入り)5千円前後で取引された。燃料高騰を理由に4月26・27日に全国のイカ釣り船が一斉休業した影響はほとんどなかった。

は4月半ばに内外市場の金先物相場の下げで急落した。東京商品取引所の金先物価格は4月中旬に取引の中心である期先物が一時、1.41332円と約8カ月ぶりの安値をつけた。

るシカゴ先物(期近)は30日の時間外取引で前週末比7%強高い1.136.9ドル台に上昇し、1カ月ぶり高値をつけた。米農

ウイークリー 25-43 5月 87-88
 6月 87-88
 飼・肥料